

謝 辞（抜粋）

倉敷芸術科学大学に入学したのは四年前の春、桜が満開を迎えた頃でした。初めての環境での不安と新しく始まる大学生生活に期待する気持ち両方を抱えて大学に足を踏み入れたことを、昨日のことのように覚えていきます。そう感じるのは、大学で過ごした日々が充実していたからだと思います。

大学で学んだことはこの場ですべて語り尽せませんが、この四年間で私は芸術について進及する楽しさを学びました。

高校生の頃から芸術を学びたかった私は、芸術に関する講義の並ぶ自分の時間割を見て心が躍ったものです。

一年次で初めて触れる基礎的な学習はとても楽しく、今まで知らなかった知識が身につくことがうれしかったことを覚えています。アートからデザインまで幅広く学び自分の興味が

あるものは何か考えることが出来ました。

二年次前期には授業の一環で描いたファッションのデザイン画が賞をいただき、ファッションショーで自分がデザインし、作ったドレスを見たときはとても感動しました。

二年次、三年次は、芸術の専門的な講義以外に、教員免許取得のための講義、学芸員資格取得のための講義にも力を入れました。

三年次後期の教育実習では、二週間、実際に自分たちで授業を行いました。大学内で学んでいたときには気づけなかったこと、実際に生徒とコミュニケーションをとる難しさ、現場の先生方の授業など、学ぶことが多くある実習でした。

四年次では、四年間の集大成としての卒業制作を行いました。一年間で一つの制作を行う中でより良い作品にするために悩むことや苦勞することもありました。しかし、悩んで手を止めて見たからこそみえる新しい発見や、苦勞を乗り越えたからこそできた成長もありました。

一月に行われた卒業制作展で「加計勉大賞」「岡山大学薬学部長賞」「お買い上げ賞」を受賞させていただくことができました。メディアにも取り上げていただき、多くの人に作品を見ていただくことができました。

本校の印象は、本学科の先生、職員の方全員が親切で優しくいつも笑顔で対応してくださいましたことです。本当に良い大学に入学したと思います。

私達は、明日から、自分の選んだ道へ進んでいきます。卒業生一同、この大学で学んだことを生かし、社会の一隅を照らせる人材になれるよう日々努力することを誓います。

保護者の皆様、私たちを様々な形で支え、励ましてくださり、本当にありがとうございます。ありがとうございました。これからは私達が皆様に恩返しができるように努力したいと思えます。

最後になりましたが、皆様のご多幸と倉敷芸術科学大学の益々のご発展を祈念いたしまして謝辞といたします。

令和二年 三月 二十三日

倉敷芸術科学大学

芸術学部 デザイン芸術学科

卒業生代表 潮 嘉子